【補足】記号について

Ｎ……ナレーション

Ｍ……その人物のモノローグ（独白）

セリフの中にある括弧書き……心情や状況についての補足

登場人物と設定

* オサム　中３男。サッカー部。背番号５番。気が強い方ではなく、プレッシャーに弱い。トモノリとは同じクラスだが、親友のような関係ではない。
* トモノリ　中３男。サッカー部。背番号６番。レギュラーでチームを支えるが、やや行き過ぎた悪ふざけをするなど、子どもっぽい面も残る。ＰＫ負けに納得がいかない。

　１コマ目　ＰＫ戦での敗北。

Ｎ 「今年こそは全国に行くぞ！」そんな思いで、きびしい練習をのりこえてきたサッカー部。  
ところが、地区大会の初戦、試合はまさかまさかのＰＫ戦にもつれこんだ。  
最後のキッカーはオサム。しかし……。

無情にも、オサムのシュートは止められた。

　２コマ目　ショックを受けるチーム。

Ｎ 試合終了。  
オサムを慰める者、まだ負けを受け入れられない者。  
みな、複雑な気持ちのまま、夏は終わってしまった。  
そして、トモノリも、もやもやした気持ちをかかえた者の一人だった。

　３コマ目　トモノリの部屋。

Ｎ その日の夜、トモノリの部屋。

Ｍトモノリ あーあ、あんなにがんばってきたのに、あっけなく終わっちゃったなー。  
……それにしても、オサムのＰＫ、あのコースはないよなー……。あーあ、しょうがないんだけど、なんかもやもやするなー。  
………そうだ、自分のプロフィール欄になら………どうすぐ消すし……。  
（ステメに、対象を明示しない曖昧な内容の悪口を書こうと思いつく。そうした行為は、仲間内でも時折みられる行為である。ここでは、オサムを強く貶めたりいじめたりする意図はなく、ちょっとした悪ふざけのつもり。一部の友人がステメに気づき、少しだけウケたらよいと思っている。ただし、そうしたことをはっきりと認識している訳ではなく、よく考えずに書き込みをしている。また、書き込み後に何が起こるかについてもあまり考えてはいない。）

　４コマ目　トモノリの書きこみ。

Ｍトモノリ ＰＫ職人が終わらせた夏（笑）

Ｎ トモノリは、メッセージアプリを開き、自分のプロフィール欄に書きこみをした。  
少しだけ、気が晴れたトモノリであった。

　５コマ目　書き込みを見てしまうオサム。

Ｎ ところが……。

Ｍオサム あれ、これって……。（ＰＫを外し落ち込んでいることもあり、ステメを見てさらに傷つく）

　６コマ目　次の日の朝。

Ｎ 次の日、オサムは学校を休んだ。  
朝、そのことに気がついたトモノリは、自分の心がざわつくのを感じた。

Ｍトモノリ え、もしかして……おれのせい？　  
いやいや、でもあんなのただのギャグだし、別にオサムのことだって書いてないし。うそだろー。  
（自分のステメのせいだということを実際には理解しているが、「悪口のつもりはない」「オサムが本気で受け取りすぎ」というように自己欺瞞に陥ってしまってもいる）

終